

CTED NewsLetter

Center for Teacher Education and Development, Okayama University

今から始めよう！ 教採対策

学生
向け

◆今から教採対策 まだ早い？

「27年夏には、教員採用試験に挑戦しよう。」こう思っている、一方には「まだ1年ある。まだ早いだろう。」という思いもあるでしょう。いえいえ、早すぎることはありません。

教員採用試験に向けて、何を準備しておかなければならないのでしょうか。それは、あなたが教育についての自分の考えをしっかりと持っておくことです。

- なぜ教師になりたいのか
- どんな教師になりたいのか
- どんな子どもを育てたいのか
- どんな学級を作りたいのか

そのために、どのような教育をするのか
こうした質問に対して、あなたは「自分は～したい」という答えを持っていますか。これらの答えを付け焼き刃で用意しても、



追加質問を受けるとすぐに化けの皮は剥がれてしまいます。こうした教師としての基本となる考えは、一人一人の信念や哲学のようなものです。時間をかけて、ぶれない軸を作っていかなければなりません。そのためには、教育についての幅広い視野も必要です。もちろん時間も必要です。大学の授業で学ぶ、部活動・ボランティア活動等の体験を通して学ぶ、書籍やインターネット情報等から学ぶ、友達と議論しながら深めていくなど、自分でできる方法がいろいろあると思います。

それに加えて、教職相談室がお手伝いできることもあります。

◆相談室で、できること

教職相談室には、教職を経験した専任教員2名とコーディネーター1名がいます。小論文、面接、集団討論、模擬授業など受験対策指導も行っています。

この中で、最も早い時期から取り組んで欲しいのは、小論文です。小論文指導では、書き方の指導もしますが、もっと大切に行っているのが、テーマについて教員と学生が意見交換をすることです。その中で、テーマがもつ背景や現場での指導の様子を

知り、教育・教師についての考えを深めていくことができます。早い時期から小論文に取り組むことで、教育についての考えを耕し視野を広げることができます。それは、教員採用試験の面接や集団討論でも大きな力となります。

もう一つ取り組んで欲しいのは、「教師力養成講座」への参加です。この講座では、教育現場が直面している教育課題とそれに対する取り組みについて、現場で働く先輩に熱い思いを語っていただきます。参加した学生間で討論する場も設定しています。本年度第5～7回の講座は、12月～2月に開催する予定しています。(本紙P2に、本年度第2～4回講座を紹介しています)

講座については、日程の都合で参加できないこともあると思います。そんな人も、間接的な形で受講することはできます。過去6年間の講座は、DVDとして録画保存しています。教職相談室でDVDを視聴し、教員も加えてグループで意見交換をするという形での勉強ができます。

教職相談室を利用し、共に教職を目指す仲間と一緒に準備を進めていきましょう。

【文責：武藤幹夫】

TOPICS
今号の主な記事

- 【特集】今から始めよう！教採用対策
- 【報告】教師力養成講座(第2～4回)
- 【報告】岡山県教育委員会との専門部会開催
- 【報告】CST土曜講座開催「アルマ天文台講演」
- 【報告】岡山大学オープンキャンパス出展
- 【案内】教師力養成講座(第5～7回)
- 【告知】教師教育開発センター紀要について
- 【連載】《教員リレーエッセイ》
教師教育開発部門 高旗 浩志 教授
- 【連載】教員採用試験のツボ その十「教職ガイダンスに参加しよう」
- 【掲示板】「岡大教職ナビ」最新情報
- 【掲示板】教師力養成講座のお知らせ
- 【掲示板】教師教育開発センター紀要(第5号)原稿募集のご案内

「教師力養成講座」を利用しよう！

学生
向け

今年度開催した講座(第2～4回)の紹介

第2回教師力養成講座 「小中高等学校における キャリア教育」 ～現場からの問題提起～



産業・経済の構造や雇用の形態など変化が進む社会の中で、学校と社会の円滑な接続を図るためにキャリア教育が推進されています。今回は、実社会に近い学校現場で活躍しておられる、笠岡工業高等学校の赤木恭吾校長に、キャリア教育について講話をしていただきました。

まず、赤木先生が、キャリア教育にかかわる背景やねらい、具体的な実践例などを話されました。キャリア教育は、社会的・職業的自立に向けて必要な能力等を育てる教育です。身につけさせたい基礎的・汎用的能力は、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つです。提唱から約10年を経て、学校現場での実践も広がり、キャリア教育の推進が学習意欲を高めることも報告されています。それを受けて、参加者がグループで指導案作成などの活動に取り組みました。

自分自身に自信をもって地域で活躍できる人材を育てたいという赤木先生の熱い思いが伝わってきました。参加者の感想です。「キャリア教育について、理解とともに、実際に指導案作成など実践的なこともでき、非常によい体験ができた。」

【文責：武藤幹夫】

第3回教師力養成講座 「子どもの何を褒め、何を叱らなければならぬのか」 ～子どもたちは、優しくして厳しい先生をもとめている～

「子どものよいところをしっかりと褒めたい」よく学生から聞く言葉です。「では、どんなところを褒めますか」と尋ねると、答えに詰まる学生もいます。第3回目の講座は、岡山市立西小小学校の高原健裕先生に、褒めることと叱ることについての講話をしていただきました。

高原先生は、ご自分の失敗も含めた体験をもとに具体的な指導例を示しながら、話を進められました。途中に参加者のグループ討議「何を褒め、何を叱るか」を挟んで、「褒めることと叱ることによって子どもを変容させることができること」「個人を見るだけではなく集団とのつながりを見ること」「期待する子どもの姿を描いて、褒める・叱る理由を伝えること」など、子どもの姿を通して教えてくださいました。褒めることも、叱ることも、期待する子どもの姿を実現していくために「教師として」行う大切な指導です。

聞く者を引き込む話術と、具体的でわかりやすいお話で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。参加者の感想です。「叱ることについて自信がなく、自分は教師に向いているのか不安に感じていた。褒める、叱るの軸を学び、方向性が見えた。」

【文責：武藤幹夫】



第4回教師力養成講座 「多くの教師は、 教師になって揺らぐ」 ～自分なりの教師像を創り出すために～



今回は、大津市立中央小学校の神田豊先生に講師をお願いしました。本講座で初めての岡山県外の先生です。先生は、長年多くの教師と交流を持ち、教師が直面する課題を手がかりにして、授業作り・学級作りの進め方を研究し、実践しておられます。

まず参加者が「理想とする教師像」「創りたい学級像」を記述し、そのことについてグループ討議・発表をしました。それを受けて、神田先生から講話がありました。先生は、「主体性を高める」「率直な人間関係を作る」「自己実現に向かう」を大切にし、協同的な学習に取り組んでおられます。ビデオで見せていただいた6年生の算数の授業には、言葉を選びながら根気よく自分の考えを説明する姿、友達の考えを聞き逃すまいと耳を傾ける姿など生き生きとした子どもの姿がありました。また、学習の枠組みを作り、子どもの考えを整理し意味づけしながら子ども主体性を存分に発揮させている先生の姿がありました。

「教師として『なぜそれをするのか』を自分に問い続けている」という先生の言葉が印象深く心に残りました。参加者としては、自分の描いている教師像や学級像について考えるよい機会になったようです。

【文責：武藤幹夫】

◆講座のDVDは、教育相談室で見られます。



スタートから15年目を迎えた「岡山県教育委員会と岡山大学の連携協力会議専門部会」が、7月9日（水）岡山大学教育学部本館第1会議室で開催され、喫緊の教育

課題解決に向けて協議・意見交換等を行いました。

岡山県教育委員会からは、①教員養成課程における特別支援教育に関する内容の充実及び生徒指導の実践力の充実、②通常学級に在籍する特別な支援の必要な幼児児童生徒についての調査及び学力調査について、大学側へ要望・協力依頼がなされました。

岡山大学からは、①教育学研究科修士課程進学者の教員採用試験採用候補者名簿の登録有効期限を2年に延長、②教職大学院への現職教員の派遣人数の増加、③附属学校園の運営について協力を依頼しました。

また、インターンシップと学校支援ボランティアの現状と今後の在り方、学校リーダー養成のための連携協力、先進的教員養成プロジェクトの進捗状況等々、終始熱心な協議・意見交換がなされました。

さらに、初任者サポート事業（仮称）と実践型社会連携教育におけるマッチングシステム構築については、11月の合同連携協力会議においても引き続き協議することとなり、併せてこのたびの双方からの要望等について回答を寄せることが確認され、有意義な専門部会となりました。

【文責 江木英二】

CST土曜講座(アルマ天文台講演)

8月21日（木）に、CST土曜講座と現職CST講座の夏期研修会の一部として、講師に三菱電機(株) 通信機製作所 インフラ情報システム部 望遠鏡プロジェクト部長 大島 丈治 氏を迎えて、講演会「アルマ天文台プロジェクトから学ぶ」を開催しました。

南米チリ共和国の標高5000mのアタカマ砂漠に建設されている超高性能電波望遠鏡による国際共同天文台プロジェクトについて、望遠鏡開発の過程やプロジェクトにおける国際競争の舞台裏など、関係者だからこそできる興味深い講

演をしていただきました。日本の町工場技術によって実現した巨大望遠鏡の開発、想像を絶する自然環境の中での建設、このプロジェクトによってもたらされる研究の成果などを、天文に関心の高い人には専門的な立場から、天文に詳しくない人でも科学技術と人のつながりを感じ取ることのできる人間ドラマとして、楽しくうかがうことができました。講演後には、講師とCST受講者で自由に意見交換していただく時間を設け、充実した時間とすることができました。講演の内容もちろんですが、大島氏の科学



に携わる研究者、企業人としての魅力に触れることができ、児童生徒に科学の魅力を伝える大切さをあらためて感じた一日でした。

【文責：山崎光洋】

教員採用試験の

ツボ

その十「教職ガイダンスに参加しよう」

連載

「教育学部 教職ガイダンス」が4回開催されます。対象、日時は下記の通りです。

● 第1回

【対象】1年次生

【日時】10月29日（水）14:40～

● 第2回

【対象】3年次生と大学院生

【日時】12月3日（水）14:40～

● 第3回

【対象】2年次生

【日時】12月10日（水）14:35～

● 第4回

【対象】3年次生と大学院生

【日時】2015年1月7日（水）16:15～

※ 時間・場所は掲示板を見てください。

自分が対象のときに必ず参加しましょう。この会は、教員になるかどうか迷っている人や教職についてもっと知りたいという人にとっても大変有意義な会です。現在学校現場で働いている先輩から、「教師という仕事の苦勞や喜び」「教師になってよかったと思うこと」「後輩に伝えたいこと」「学生時代にしておきたいこと」につ

いて貴重な話が聞けます。教師になることを諦めかけている人もこの会に参加して、教職についての正確な情報を知った上で自分の進路を決めましょう。また、今年の教員採用試験に合格したばかりの先輩からその体験談を聞くこともできます。第4回目は、教職相談室の利用の仕方などについてお話をさせていただきます。

【文責：小川潔】

教職相談室には、先輩方が受験した教採体験記があります。相談室内で閲覧できますので、ぜひ見に来てください。

「岡大教職ナビ」では教職課程を履修しているすべての学生に役立つ情報を随時配信しています。ここでは配信した最新記事の一部を掲載しています。さらに詳しい情報や最新の情報はセンターホームページをごらんください。

教員・講師等募集情報

赤磐市公立学校常勤講師等募集
日本福祉大学付属高等学校専任教諭等募集
同朋高等学校専任教員募集
西南学院中学校・高等学校常勤講師募集（数学、養護教諭）
朝日塾幼稚園幼稚園教諭募集
大分市幼稚園教員採用案内
福山暁の星小学校常勤講師募集
駿台学園中学校・高等学校常勤講師募集
学校法人津田学園教育職員募集
学校法人岡辻学園山手幼稚園幼稚園教諭募集
聖学園中学校・高等学校非常勤講師募集（理科）
清心中学校・清心女子高等学校常勤講師募集（数学）
綾羽高等学校常勤講師募集
明誠学院高等学校 常勤講師等募集

スクールボランティア募集情報

岡山市内特別支援学校・特別支援学級合同運動会（岡山市特別支援教育研究会）
学校支援ボランティア依頼内容一覧（2014.9.18）（岡山市教育委員会生涯学習課）
瀬戸内市学習支援ボランティア（瀬戸内市教育委員会）
不登校支援ボランティア（岡山市教育委員会事務局指導課）
早島町学生ボランティア（早島町教育委員会）
児童生徒への放課後等における学習支援ボランティア（岡山県教育庁生涯学習課）
倉敷市不登校の子ども達の「居場所」ボランティア（倉敷市教育委員会生涯学習課）
学校支援ボランティア（岡山県立岡山支援学校）
玉野市適応指導教室「わかば教室」学生ボランティア（玉野市教育サポートセンター）

岡山大学オープンキャンパス出展

8月8、9の両日、岡山大学オープンキャンパスが開かれ、総合案内センターにて、教職をめざす高校生対象に個別相談会を行いました。台風が接近する中ではありましたが、みなさん熱心に教員免許取得までの履修手順や教員採用試験などについて質問されていました。岡山大学では、教職をめざす学生全員に手厚くサポートを行っていることから「教育学部以外に所属していても教職をめざすことができる」と安心されている様子でした。悪天候の中、ご参加いただいた高校生および保護者の方々に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



【文責：熊澤知子】

教員リレー・エッセイ「開放制教職課程の質保証」

教師教育開発部門 高旗 浩志 教授

いくつか数字をご紹介します。本学で教職課程を履修し、教員免許状を取得するには総計約70単位が必要です。「学生は、もうひとつの専門学部にも所属している」と言うのが良いでしょう。このうち約30単位が教職教養・教科教育法科目であり、教育学部の先生方のご尽力により開講されています。各課程認定学部と教育学部との良好な関係を表すだけでなく、開放制教職課程の質保証に全学を挙げて取り組んでいることの証左です。

以下の数字は全て開放制教職課程の数字です。平成21年度、本学の教員免許状取得者のうち、教職に就いた者の割合は15%でした。しかしセンター創設以来、この比率は上昇を続け、現在では40%に迫る勢いです。教員就職者数は過去11年の間に339名です。これは卒業直後の数字です。卒業後数年、講師を経て教職に就いた者を含めれば、さらに多くの教員を輩出しています。平成15～21年度は毎年20名程度でしたが、過去3年では毎年40名超の水準を維持しています。教員採用試験受験率も29.8%→35.6%→47.9%と飛躍的に上昇しました。受験地では岡山県が40%、兵庫県が10～20%程度、岡山県を除く中国地方10%、四国地方15%です。受験校種別では70%が高校です。教採受験と他の進路活動との関係はどうでしょう？過去2年の卒業生の場合「教員免許は取得するが、教採は受験しない者」は、一昨年度まで60%を超えていましたが、昨年度の卒業生は50%を切りました。教職のみ専願の者は13.8%→22.0%、教職と他の進路活動（就職・進学）を並行していた者は21.8%→17.3%に変化し、「専願」が微増しました。一次試験通過率は「専願」が67.3%、「併願」が37.9%です。しかし二次試験通過率は「専願」58.5%、「併願」61.9%でした。教職課程を最後まで履修した学生のGPA平均値は2.76であり、全く履修していない課程認定学部生の平均2.49を大きく上回っています。

本学の開放制教職課程のミッションは「課程認定学部の専門教育が支える、優れた研究実践力をもつ中等教育教員の輩出」です。センターは文字通り、課程認定学部と教育学部の先生方と学生とを繋ぐ「中心」として、開放制教職課程の質保証に取り組んでいます。今後ともよろしく願い致します。

平成26年度

第5・6・7回教師力養成講座開催日のご案内

- ◆ 第5回
日時 平成26年12月17日（水）13:00～16:00
- ◆ 第6回
日時 平成27年1月14日（水）13:00～16:00
- ◆ 第7回
日時 平成27年2月18日（水）13:00～16:00

※ テーマ等詳細は決まり次第、センターホームページにてお知らせいたします。

センター紀要（第5号）原稿募集のご案内

当センターでは、主に教師教育（教員養成教育、現職教育）及び教育実践をテーマとした実践的・理論的研究論文を、学内の先生方から広く公募します。

- 投稿申込締切：平成26年11月7日（金）
- 投稿申込先：専用オンラインフォームよりお申し込みください。
- 原稿提出締切：平成27年1月7日（水）必着

投稿内容や投稿資格などの詳細はセンターホームページでご確認ください。

<https://cted.okayama-u.ac.jp/bulletin/>

